

ふくい宇宙産業創出研究会 『人工衛星設計基礎論 2020』 講義開催のご案内

ふくい宇宙産業創出研究会では、人工衛星設計に関する基礎知識の習得を目的として、平成 27 年度に特別集中講義『人工衛星設計基礎論』を開催しました。受講した技術者は、超小型人工衛星（3U級キューブサット）を製造し、令和元年11月には宇宙空間に届けることに成功しています。

県では、人工衛星製造拠点化を目指す中、新たな技術者養成のため、内容をより充実させた『人工衛星設計基礎論 2020』講義を、福井大学産学官連携本部と共同で実施します。

皆様のご参加をお待ちしております。

【名称】人工衛星設計基礎論 2020（全 13 回）

【日時】第 1 回：2020 年 3 月 6 日（金）18：30～20：30

第 2 回：3 月 11 日（水）18：30～20：30

第 3 回：3 月 27 日（金）18：30～20：30 以後の日程は計画中

（原則、平日夕方・月 2～3 回開催。休日に集中講義の場合あり）

【場所】福井大学 会議室

【講師】福井大学 産学官連携本部 特命准教授 青柳 賢英 氏 ほか

【費用】無料（ふくい宇宙産業創出研究会に入会する必要があります）

【主催】福井大学産学官連携本部、ふくい宇宙産業創出研究会、
ふくいオープンイノベーション推進機構

【内容】

- 第 1 回：人工衛星設計の導入
- 第 2 回：衛星ミッションの概念設計
- 第 3 回：宇宙環境
- 第 4 回：データ処理系とソフトウェアの設計
- 第 5 回：電源系の設計
- 第 6 回：衛星の電子回路の実習
- 第 7 回：熱設計
- 第 8 回：姿勢制御
- 第 9 回：軌道論
- 第 10 回：衛星の光学設計
- 第 11 回：通信、地上局系
- 第 12 回：人工衛星の軌道と運用（グループ実習あり）
- 第 13 回：人工衛星設計の実習（グループ実習あり）



衛星製作の様子

— 申し込み・問い合わせ先 —

福井県工業技術センター 新産業創出研究部 宇宙技術研究G 松井、岸本、橋本

TEL：0776-55-0664 E-mail：foip@fisc.jp

※お申し込みは、Eメールにてお願い致します。（記載事項：①会社名 ②役職 ③氏名 ④連絡先）

締切日：2月28日（金）

講師のご紹介

【講師】 青柳 賢英（あおやなぎ よしひで）氏
【所属】 福井大学 産学官連携本部 特命准教授
【主な経歴】

○2012年

北海道工業大学大学院 応用電子工学専攻 博士号（工学）取得
学部生時代には、超小型衛星 HIT-SAT の開発に参加
博士課程では、ハイパースペクトルセンサの研究開発

○2012年 - 2013年

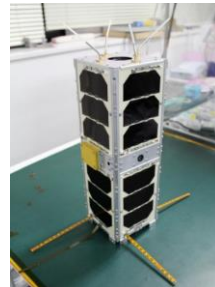
東京大学大学院 工学系研究科 航空宇宙工学専攻 特任研究員
超小型衛星 ほどよし 3、4号に関わる研究開発(搭載地球観測カメラ、運用管制、ロケット I/F 等)



ほどよし衛星

○2014年

東京大学 先端科学技術研究センター 特任研究員
ほどよし 3、4号衛星の運用、ほどよし衛星を含む超小型衛星のデータ利用に関する研究に従事



TRICOM-1R

○2015年 - 2019年 12月

東京大学大学院 工学系研究科 航空宇宙工学専攻 特任研究員
多数の超小型衛星の研究開発に従事 (TRICOM-1、1R、MicroDragon、RWASAT、AQT-D、G-SATELLITE 等)

- ・ TRICOM-1、1R 衛星バス・カメラミッション担当
- ・ RWASAT-1、AQT-D 衛星バス開発マネージャー
- ・ G-SATELLITE 衛星開発マネージャー

2016年1月、人工衛星設計基礎論にて「人工衛星のデータ処理系」を担当、
2017年7月、ふくい宇宙産業創出研究会 高度技術研修にて「人工衛星の運用管制」を担当

2018年1月以降、RWASAT-1、AQT-D、G-SATELLITE 開発を通じ福井県内の宇宙機設計・開発・製造技術者の育成に貢献

○ 2019年 12月～ 現職

超小型衛星の研究開発、ハイパースペクトルカメラ等の観測カメラの研究開発に従事

以上